

児童発達支援自己評価表(事業所職員向け) にこにこ 2023 *数字は%表示

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100	0	0	0	・新施設によりものすごく改善された
	2	職員の配置数は適切であるか	56	44	0	0	・看護師さんが慢性的に不足している様子。部署間の掛け持ちが多すぎて多忙すぎたり、集中力に欠けたりすることが懸念される(三浦)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100	0	0	0	
業務改善	4	業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	44	56	0	0	・(パートははぶいたとしても)常時いるスタッフ間での時間の確保の工夫が必要。他の部門や部署の仕事に(利用者がいない時間は)多忙すぎる様子(三浦)
	5	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	78	11	11	0	
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67	33	0	0	・組織運営の評価と改善は公開されている。支援の質の改善については現場ですらに確認していく必要がある(三浦)
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	22	33	33	11	・第三者が業務改善、業務状況・実情をどの程度承知しているのか不明。概要は理解されている(三浦)
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	0	・広いまたは基本的見識に関する研修は充分行われている。他の事業所との担当者会議に留まらず、パート内またはパート間(るんるん・にこにこ)のケース会議を行ってもらえると良い(三浦)
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	67	33	0	0	・広いまたは基本的見識に関する研修は充分行われている。他の事業所との担当者会議に留まらず、パート内またはパート間(るんるん・にこにこ)のケース会議を行ってもらえると良い(三浦)
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	22	56	11	11	・ツールが曖昧だとしても、スタッフ間の経験知をつめあえば、補える部分は充分あると思う(三浦)
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	56	33	11	0	・地域支援に関しては具体的でない(小池) ・日々の送迎時などに保護者と情報・意見交換がなされている(三浦)
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	89	11	0	0	・なされていると思うがスタッフが日々多少入れ替わる現場では、上記のようにケース会議がたまにあるとありがたい(三浦)
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	56	33	11	0	・努力している(小池) ・日々の現場の中で情報・意見交換がなされていると思う(三浦)
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67	33	0	0	
	15	子どもの状況に応じて、個別計画と集団行動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	67	33	0	0	・にこにこでは利用者が少ないのでにこにこ内での集団性の活動は難しい。他の部署や児童館などでの同年代の利用者との交流は意識して行われている(三浦)
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	78	22	0	0	・朝礼を行い他部署とも情報共有している(森藤) ・できない時もある(小池)
	17	支援開始後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	33	56	11	0	・夕礼を行い問題点等について話し合っている(森藤) ・毎回ではない(小池) ・打ち合わせは送迎などで全員が揃う事は難しい。声を出し合い、サービス時の流れの中で共有できているのでは(三浦)
18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	78	22	0	0	・時間確保の工夫が必要(三浦)	

	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	78	22	0	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100	0	0	0	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	56	33	0	11	・しっかり行われているが、担当者が他の業務も併せ持っていて多忙すぎる様子。時間確保が難しそう(三浦)
	22	(医療的ケアの必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	78	22	0	0	・しっかり行われているが、担当者が他の業務も併せ持っていて多忙すぎる様子。時間確保が難しそう(三浦)
	23	(医療的ケアの必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	78	11	11	0	・主に保護者を通じて行っている。大きな支障はない様子(医療福祉センターとはできていないのでは?)(三浦)
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	67	22	0	11	・今年度は対象者がいないと思います(池上)
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	44	11	11	33	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	67	22	0	11	・全体研修では行われている。現場へのPTOPの巡回指導を希望する(三浦)
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	89	11	0	0	・公園、児童館などを通じて行われている(三浦)
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	22	56	11	11	・組織全体としては行われているのでは(三浦)
	29	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	89	11	0	0	
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11	56	22	11	・送迎時などに日々のあられをもとに伝えたり、情報交換を行ったりしている(三浦)
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	89	11	0	0	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	78	22	0	0	・限られた職員数の中でどこまで求めるのか不明(三浦)
	33	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	0	0	・即自的に行われているが、利用者がいる時間帯の場合はスタッフが手薄になる時もある(三浦)
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11	44	44	0	現在コロナ等のためできていません(森藤)
	35	子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	89	11	0	0	・即自的に行われているが、利用者がいる時間帯の場合はスタッフが手薄になる時もある(三浦)
	36	定期的に会報等を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	89	11	0	0	・活き生き通信等で充実している(三浦)
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	89	11	0	0	

	38	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	89	11	0	0	・送迎時・メール・動画等で即自的に対応している(三浦)
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	78	22	0	0	
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	78	22	0	0	・努力している。保護者には周知しきれていない(小池)
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0	0	0	
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	89	11	0	0	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	78	11	0	11	・声をかけあって確認している(三浦)
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	78	22	0	0	・多忙で“事例集”への意識がやや低くなっている(現場では)(三浦)
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	89	11	0	0	・全体研修で行われている(三浦)
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	78	11	11	0	・「組織的に決定」するようなケースは重心は比較的に少ない。反面、動けず表現力が弱い利用者なので、苦痛がわかりにくいので、姿勢交換や表現の読み取りに留意していきたい(三浦)